

令和6年度 第1回 定時総会

# 議 案 書

日 時 令和6年5月22日(水)

場 所 京王プラザホテル札幌

一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会



## 令和5年度 事業報告

### 1. 概要

一般社団法人北海道土地改良設計技術協会は、事業計画に基づき(1)寒冷地における農業農村整備事業の調査研究開発、(2)寒冷地における農業農村整備の技術研修会、講演会及び見学会の開催、(3)寒冷地における農業農村整備の技術資料の収集、配布及び情報の交換、(4)農業農村整備事業にかかわる企業の育成のための情報の提供及び助言、(5)その他この法人の目的を達成するための必要な事業を実施した。

#### (1) 会議等

##### ア 総会

###### 第1回定時総会（令和5年5月24日）

令和4年度事業報告、決算報告、監査報告、任期満了に伴う役員の選任並びに常勤役員の退任慰労金について

###### 第2回定時総会（令和6年3月27日）

令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

##### イ 理事会

###### 第1回理事会（令和5年5月9日）

令和4年度事業報告、決算報告、監査報告、任期満了に伴う役員の選任、常勤役員の退任慰労金並びに第33回協会被表彰者の決定について

###### 第2回理事会（令和5年5月24日）

会長理事、副会長理事、専務理事及び常務理事の選任並びに常勤役員の退任慰労金について

###### 第3回理事会（令和5年6月9日）

顧問の推薦並びに令和5/6年度委員会委員の選定について

###### 第4回理事会（令和5年9月28日）

協会設立50周年記念 道産米及び牛乳贈答券寄贈事業（案）並びに令和6年度農業農村整備事業概算要求の概要について

###### 第5回理事会（令和6年1月19日）

令和5年度農業農村整備事業補正予算及び令和6年度農業農村整備事業予算（概算決定）並びに設立50周年記念 道産米及び牛乳贈答券寄贈事業の実施状況について

###### 第6回理事会（令和6年3月27日）

令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

##### ウ 委員会

企画委員会及び広報・研修・技術検討委員会合同会議（令和5年4月25日）

研修委員会（令和5年6月21日、10月25日）  
広報委員会（令和5年6月28日、8月1日、12月8日）  
技術検討委員会（含積算技術研究会）（令和5年7月13日）  
表彰審議委員会（令和6年3月27日）

エ 新年交礼会（令和6年1月19日）

## （2）会員の状況

令和6年2月13日付で(株)北海道朝日航洋の退会により、令和6年3月末時点で29社となっている。

## 2. 一般会計

### （1）公益事業

#### ア 技術開発・普及事業

##### （ア）技術開発・技術講習会

積算・寒冷地における農業農村整備事業に必要とされる各種基準、指針、マニュアルの検討を継続した。

また、4月に会員各社を対象に行ったアンケートにおいて、最も関心の高いテーマで、近年北海道開発局でも取組の試行を進めている「3次元設計」について、先取りして技術の習得を図るため、技術講習会として、CADのソフトウェアを使った実習形式で、2回に分けて各2日間実施した。また、会員会社を対象に、講習テキストをダウンロードできるようにした。

・第1回技術講習会（令和5年11月9～10日、受講者：13名、11月16～17日、受講者：9名）

##### 「3次元設計演習」

北海道開発局農業水産部農業設計課長補佐 正野俊晃氏  
(株)大塚商会 CAD ソリューションセンター 荘司真弓氏  
(一社)北海道土地改良設計技術協会 太田 敬氏

##### （イ）技術情報収集・配布

農業農村整備事業に関する情報、文献収集、技術図書・文献の受入れなどを行い保管した。また、目次などの概要を公開し、技術習得、技術普及に努めた。

過年度作成した海外かんがい排水技術資料に、近年収集した「かんがい排水に関する新たな海外文献」を追加編纂し、さらにフランス・アメリカ視察調査記録を整理・編纂して最終的な海外かんがい排水技術資料として取り纏めた。

##### （ウ）積算技術研究会

契約、業務実施上の諸問題について、会員各社から多様な意見を収集するとともに、研修、統一的な要望等を行い、関係機関との意見交換会を実施した。

・10 開発建設部との協会要望に係わる意見交換（令和5年11月1日～12月

4日)

## イ 研修会事業

### (ア) 土地改良研修会

- a 農業農村整備事業を取り巻く状況についてマクロ的な立場からの理解
- b 農畜産物の利用やこれからの農業農村整備に求められる技術や知識に関する提言
- c 会員各社の最新の研究成果発表等

の演題を通し、これからの農業農村整備に求められるビジョンや技術を習得する研修会を開催した。研修終了後講演録を作成し関係機関、教育機関等に配布、併せて協会 HP に掲載した。

- ・第1回土地改良研修会（令和5年10月25日、受講者：167名）

「クボタの見据えるスマート農業の未来」

(株)クボタ 特別技術顧問 工学博士 飯田 聡氏

- ・第2回土地改良研修会（令和6年2月9日、受講者：126名、含ライブ配信）

「最近の農業農村整備を巡る諸情勢について」

北海道開発局農業水産部調整官 三野康洋氏

「食料供給を担う北海道農業の今後の展望」

東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学・資源経済学専攻 教授 中嶋康博氏

### (イ) 現地研修会

施工技術の習得を目的として、設計業務に求められる改善点、設計と施工の情報交換、留意点について現地での研修会を開催した。

#### a 道内研修会

- ・現地研修会（前期）（空知地域：雨竜川下流地区、美唄茶志内地区、令和5年7月14日、参加者：28名）
- ・現地研修会（後期）（十勝地域：芽室川西地区、新川二期地区、幕別地区、令和5年9月20～21日、参加者：26名）

#### b 道外研修会

- ・東北農政局管内（国営赤川二期、国営最上川下流左岸農業水利事業、令和5年11月16～18日、参加者：19名）

#### c 現地ミニ講習会

新工法、施工法、特殊仮設等について会員各社の設計技術者が現地で実際に見学、講習を受けることにより、新技術の習得、設計技術の向上と速やかな技術普及を図るため、現地ミニ講習会を9回開催した。

- ・第1回現地ミニ講習会（令和5年6月20日、参加者：26名）

国営かんがい排水事業「北海地区」

水位調整施設の施工について

- ・第2回現地ミニ講習会（令和5年7月26日、参加者：22名）  
国営緊急農地再編整備事業「旭東東神楽地区」  
急傾斜地の区画整理工事の施工について
- ・第3回現地ミニ講習会（令和5年9月1日、参加者：15名）  
国営環境保全型かんがい排水事業「別海北部地区」  
PCパネル構造の配水調整槽の施工について
- ・第4回現地ミニ講習会（令和5年9月7日、参加者：21名）  
国営緊急農地再編整備事業「阿寒地区」  
火山灰・泥炭土が混在するほ場整備の設計について
- ・第6回現地ミニ講習会（令和5年10月17日、参加者：16名）  
国営かんがい排水事業「幌加内地区」  
開水路改修工事におけるプレキャスト製品工法の施工について
- ・第7回現地ミニ講習会（令和5年10月19日、参加者：12名）  
国営かんがい排水事業「中後志地区」  
既設水路存置（側壁利用）による用水路の設計・施工上の留意点について
- ・第8回現地ミニ講習会（令和5年11月10日、参加者：14名）  
国営かんがい排水事業「宇遠別川地区」  
排水路のパネル系被覆工法による施工について
- ・第9回現地ミニ講習会（令和5年11月30日、参加者：23名）  
国営かんがい排水事業「十勝川左岸二期地区」  
既設用水路管に隣接する用水路管の施工について
- ・第10回現地ミニ講習会（令和5年12月19日、参加者：28名）  
国営緊急農地再編整備事業「岩見沢北村地区」  
ガラス繊維強化ポリエチレン管φ1350mm（内圧用ハウエル管HSPE）  
の施工について

（※）なお、第5回現地ミニ講習会（令和5年10月6日）は雨天中止

#### （ウ）資格講習会

設計技術者の資質向上を目的に以下の講習会を実施した。

- a 技術士二次試験筆記試験対策講習会（令和5年4月8日、参加者：59名）
- b 技術士二次試験口頭試験対策講習会（令和5年11月、二次試験筆記試験合格者の内、希望者に口頭試験対策資料を送付した。）

#### ウ 広報事業

##### （ア）会誌「技術協」「報文集」の発刊

土地改良や北海道の農業農村整備事業に関する話題、行政の動向、会員等の技術研究成果等の提供を目的に情報誌を発刊し、関係機関等に配布、協会HPに掲載した。

a 技術協

- ・「技術協」第 110 号（令和 5 年 9 月 29 日発行）
- ・「技術協」第 111 号（令和 6 年 3 月 1 日発行）

b 報文集

- ・「報文集」第 35 号（令和 5 年 9 月 29 日発行）

(イ) 北のフォトコンテスト、写真展

a 北の農村フォトコンテスト

農業・農村の写真を通じ、「農」、「食料」、「土地改良」への関心を高め、農村景観に与える農業農村整備事業、土地改良、営農等の成果の蓄積や研究への利用を図るとともに、応募された写真を「2024 北の農村カレンダー」、ポストカード、書籍、冊子等に利用し啓発、広報活動に寄与した。

- ・JR 誌（7 月号～10 月号、1～2 月号）に第 38 回「豊かな村づくり」写真展作品応募広告を掲載
- ・第 37 回「北の農村フォトコンテスト」審査会（令和 5 年 5 月 18 日）、入賞作品を協会 HP に掲載発表（令和 5 年 6 月 1 日）
- ・「2024 北の農村カレンダー」用写真審査会（令和 5 年 9 月 11 日）
- ・「北の農村フォトコンテスト」応募作品使用依頼（北海道開発局農業振興課外 9 件）
- ・「豊かな農村づくり写真展 北の農村フォトコンテスト検索システム」の第 37 回フォトコンテスト分の新たな応募写真データの追加更新を行い、関係機関に配布し、利用の便に供した。

b 写真展

フォトコンテスト入賞作品を始めとした応募作品の展示会を公共の場で開催し、広く「農」、「食料」、「土地改良」への関心を高め啓発、広報に寄与した。

- ・第 37 回「豊かな農村づくり」写真展（令和 5 年 9 月 29 日～10 月 1 日）  
応募作品 573 点の内 198 点を札幌駅前通地下広場（北 3 条交差点広場（西））に展示。アンケート協力者に第 37 回応募作品から作成した「2024 北の農村カレンダー」A2 版 518 部を提供。来場者にポストカード（6 枚組）1,885 部と展示作品を収録した小冊子を配布。

(2) 共益事業

ア 経営者研修会

山陰・山陽地域（中国四国農政局管内）の国営事業地区（中海干拓、宍道湖西岸、斐伊川沿岸及び下流、南周防）の視察（令和 5 年 9 月 12 日～9 月 15 日、参加者：19 名）

イ 海外研修会

事業計画どおり隔年開催のため、本年度は催行せず。

ウ 表彰・会員名簿

協会の事業推進と発展に顕著な功績のあった者を対象に、第33回表彰式を実施した。

被表彰者6名

経営功労賞 谷 敏彦氏 ((株)小出コンサルタント 代表取締役)

経営功労賞 駒井 明氏 ((株)アルト技研 代表取締役)

経営功労賞 杉本 容孝氏 ((株)三幸ランドプランニング 取締役)

特別功労賞 松崎 吉昭氏 (元広報委員会委員)

特別功労賞 福田 正信氏 (前広報委員会委員)

特別功労賞 下谷 隆一氏 (前広報委員会委員)

令和6年度会員の概要と有資格者等を記載した会員名簿を発刊し、会員及び関係機関に配布した。

エ 関係団体事務

(公社)農業農村工学会、(一社)農業土木事業協会、(公社)土地改良測量設計技術協会、全国農業土木技術士会、北海道農業土木技術士会、全国農村振興技術連盟、(一社)畑地農業振興会、北海道地方CALS/EC推進協議会、北海道高度情報化農業研究会、(一社)北海道土地改良建設協会、農業農村工学会技術者継続教育機構、等の関連事務並びに会員間、関係機関に情報提供を行った。

・(公社)農業農村工学会北海道支部幹事会(令和5年6月14日、8月3日)、代表幹事会(令和6年2月16日)

・農業土木技術管理士研修会(令和5年6月13日、(公社)土地改良測量設計技術協会主催)

・土地改良補償業務研修会(令和5年7月4日、(公社)土地改良測量設計技術協会主催)

・全国農業土木技術士会 理事会(令和5年6月16日)、理事会・企画委員会 合同会議(令和5年11月10日)

・北海道農業土木技術士会講演会(令和5年6月19日、参加者:106名)

「日本の食料安全保障とこれからの土地改良」

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 鈴木 宣弘氏

・技術研修会(令和6年2月7日、(一社)北海道土地改良建設協会、参加者:40名)

・(公社)農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム登録(19件、CPD67単位、延べ643名)



### 3. 特別会計

#### (1) 受託事業

国からの発注者支援に係る受託業務の他、受託業務を円滑に進めるため、関係技術者の向上のためのマニュアルの改定等や各種設計施工マニュアルの発刊に向けた作業など、本協会の目的にかなう事業を実施した。

#### (ア) 国、地方自治体及び関係団体における調査業務、積算・検査・審査・監督支援業務

- ・美唄茶志内地区外1地区 監督支援業務 外16地区監督支援業務  
(現地配置担当技術者43名)

#### (イ) 受託事業に係る研究開発

##### a 品質管理マニュアル(監督支援業務)

工事監督補助業務における管理技術者、担当技術者のため、①「管理技術者マニュアル」、②工事施工品質管理マニュアルの「共通編」、「情報管理とコンプライアンス編」「CAD練習帳」、③工事施工品質管理マニュアル(工種別編)の「区画整理(水田)編」「区画整理(畑)編」「開水路編」「管水路編」「肥培かんがい編」「農地保全・排水路編(泥炭地)」「排水路編」「橋梁編」のR4版を増補・改定し、R5版を作成した。

##### b 用水路設計施工マニュアル(監督支援業務)

監督支援業務の品質管理向上に資することを目的として、今後の事業量増大が想定される用水路(管水路、開水路)について、既存資料の作成時から年数が経過していることから、新たな知見等も追加し発刊に向けた作業を継続した。そのうち、管水路については、「畑地かんがい用パイプライン計画設計・施工マニュアル」として発刊した(令和5年10月)

##### c 室蘭地域国営事業概要

道内各地域の農業農村整備事業の特性を把握する一環として、室蘭地域の概要を取り纏めた。

#### (ウ) 寄附行為

協会設立50周年を記念して、次世代を担う子どもたちを支援するとともに、道産食材のおいしさを認識してもらい、消費の促進にも少しでも寄与出来ることを期待し、北海道庁を通じて道内の子ども食堂に道産の新米10トンと牛乳贈答券(200円券)10,000枚の寄附を行った。これに対して、北海道知事より感謝状を受領した(令和6年3月6日)。



# 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	98,889,793	28,437,892	98,889,793
現 金	192,997		192,997
普 通 預 金	5,694,956	13,437,892	19,132,848
小 口 現 金	500,000		500,000
退 職 給 付 引 当 資 産	2,301,840		2,301,840
品 質 保 証 準 備 金		15,000,000	15,000,000
定 期 預 金	90,200,000		90,200,000
立 替 金	1,721,124	0	1,721,124
未 収 金	0	1,014,677,000	1,014,677,000
内 部 取 引 資 産	233,356,507	0	233,356,507
前 払 費 用	91,850	0	91,850
流 動 資 産 合 計	334,059,274	1,043,114,892	1,377,174,166
2. 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退 職 金 共 済 掛 金	499,800	0	499,800
特 定 資 産 合 計	499,800	0	499,800
(2) そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	4,560,537	0	4,560,537
敷 金	5,820,000	246,180	6,066,180
出 資 証 券	16,000,000	0	16,000,000
そ の 他 固 定 資 産 合 計	26,380,537	246,180	26,626,717
固 定 資 産 合 計	26,880,337	246,180	27,126,517
資 産 合 計	360,939,611	1,043,361,072	1,404,300,683
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	1,522,420	776,853,898	778,376,318
未 払 法 人 税 等	0	1,374,200	1,374,200
未 払 消 費 税 等	0	3,738,600	3,738,600
預 り 金	3,884,473	0	3,884,473
内 部 取 引 負 債	0	233,356,507	233,356,507
流 動 負 債 合 計	5,406,893	1,015,323,205	1,020,730,098
負 債 合 計	5,406,893	1,015,323,205	1,020,730,098
III 正 味 財 産 の 部			
1. 一 般 正 味 財 産			
一 般 正 味 財 産	355,532,718	28,037,867	383,570,585
(うち特定資産への充当額)	( △ 499,800)	( 0)	( △ 499,800)
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	360,939,611	1,043,361,072	1,404,300,683

# 令和5年度 正味財産増減計算書

自 令和5年4月1日から  
至 令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>1) 経常収益</b>			
(1) 会費収入	[ 65,400,000]	[ 0]	[ 65,400,000]
(2) 研修会等会費	[ 160,000]	[ 0]	[ 160,000]
(3) 参加費収入	[ 4,000]	[ 0]	[ 4,000]
(4) 受託事業収入	[ 0]	[ 1,002,425,000]	[ 1,002,425,000]
(5) 関連団体運営費	[ 365,000]	[ 0]	[ 365,000]
(6) 雑収入	[ 1,569,669]	[ 589,604]	[ 2,159,273]
経常収益計	67,498,669	1,003,014,604	1,070,513,273
<b>2) 経常支出</b>			
(1) 事業費(直接)	[ 42,536,439]	[ 837,750,484]	[ 880,286,923]
<b>I. 公益事業</b>	38,939,378		38,939,378
1. 技術開発・普及事業	8,639,958		8,639,958
(1) 技術開発・技術講習会	2,328,185		2,328,185
(2) 技術情報収集・配付	6,034,003		6,034,003
(3) 積算研究会	277,770		277,770
2. 研修事業	4,750,463		4,750,463
(1) 土地改良研修会	2,657,981		2,657,981
(2) 現地研修会(道内・道外・ミニ)	1,983,336		1,983,336
(3) 資格講習会	109,146		109,146
3. 広報事業	25,548,957		25,548,957
(1) 技術協、報文集	4,117,090		4,117,090
(2) フォトコンテスト	21,431,867		21,431,867
<b>II. 共益事業</b>	3,597,061		3,597,061
(1) 経営者研修会	2,566,216		2,566,216
(2) 海外研修会			0
(3) 表彰・会員名簿	632,805		632,805
(4) 関連団体事務	398,040		398,040
<b>III. 受託事業</b>	[ 0]	[ 837,750,484]	[ 837,750,484]
(2) 事業費(共通)	[ 7,807,404]	[ 106,704,527]	[ 114,511,931]
人件費	5,809,573	79,382,865	85,192,438
事務所代	1,262,180	17,261,134	18,523,314
諸雑費	735,651	10,060,528	10,796,179
(3) 管理費	[ 9,013,157]	[ 55,535,495]	[ 64,548,652]
人件費	2,541,342	37,853,471	40,394,813
事務所代	288,813	3,929,801	4,218,614
諸雑費・会議費	6,183,002	13,752,223	19,935,225
経常費用計	59,357,000	999,990,506	1,059,347,506
当期経常増減額	8,141,669	3,024,098	11,165,767
<b>II. 経常外増減の部</b>			
1) 経常外収益			
2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	8,141,669	3,024,098	11,165,767
法人税等	0	1,374,200	1,374,200
当期一般正味財産増減額	8,141,669	1,649,898	9,791,567
内、海外研修積立金	(8,000,000)		(8,000,000)
一般正味財産期首残高	347,391,049	26,387,969	373,779,018
一般正味財産期末高	355,532,718	28,037,867	383,570,585